



喜多登

お稲荷さんの初午祭

昨今、日本に訪れる外国人の方が行きたい場所が一番の候補にあがるのが、京都の伏見稲荷大社なんだそうです。千本鳥居が有名な全国に鎮座しますお稲荷さんの総本社です。

この伏見の地にお稲荷さまが鎮座された日が和銅四年辛亥歳(七一)の二月初めの午の日であったので、それ以降、毎年初午の日をお稲荷さまの縁日として神事が執り行われます。

初午は午の日ですので、土用の丑と同じく、毎年日が変わります。本年、平成二十八年は二月六日が初午の日となります。お稲荷さまは五穀をはじめ商売の神さまでもありますので、会社で祀られる場合が多く、その為、土日など会社がお休みの日に初午の日が重なる場合は、次の午の日である、**二の午や三の午の日**に初午祭として執り行われる場合もあります。(今年の二の午は二月十八日になります)

しかし、近年はお祝りの仕方が分からないという事で、神事もせず放置したままのお稲荷さまを時々見かけますが、少し調べたり、神社で聞くだけで済む事を、その手間を軽んじておられるようにお見受け致します。古来こうしたところから、福徳は逃げるといえます。

そうした事が無いようにと、この**梅田界隈**の会社の多くでは、毎年初午祭を斎行されており、当神社の神職もご依頼があれば現地に赴いて神事を執り行なうなど致しております。

私見ながら**商売に真摯な会社**であればあるほど**神事は大切**にされ、そうした会社の**社員**のお心をお稲荷さまもまたお見守り下さっているのではないでしょうか。

菜種守の授与

春の先がけたる梅の花が盛りの頃、春の訪れを告げる菜の花もまた花を咲かせ始めます。当地梅田、特に茶屋町のあたりは、かつて**菜種油**を採取する為の菜の花がたくさん植えられた地域であり、春ともなれば、あたり一面に**黄色い菜の花畑**が俳句になるほど有名でした。また、菜の花は天神さまにも由縁が深く、天神さまの御命日が旧暦の**二月二十五日**、つまり現在の三月下旬のちようど菜の花が満開の時期でした。そこから、菜の花の優しい風情が、御命日ごとに天神さまの御霊を徐々にお宥ね**(お菜種)**し、年経るごとに天神さまが学徳の神さまへとなっていくたという信仰があり、そうした謂れから、菜の花は人々の心を和ませ、丸くするというチカラがあるといわれます。

そうした茶屋町の菜の花や、天神さまの故実に由来して、茶屋町の御旅社では「**菜種守(なねまもり)**」を二月二十五日から四月初旬頃までの期間限定で授与いたしております。

梅田・茶屋町ゆかりの絵柄を織り込み、荒む心を宥め、気持ち明るくし、イライラを鎮め、冷めた心を温め、優しさを育む事を祈念した開運の御守です。

厄年の御祈祷

当神社では厄年の厄除け祈祷を受け付けております。数え年の**男性四十二才(昭和五十年生)**、**女性三十三才(昭和五九年生)**の本厄の方と、その後一年の年にあたられる方は厄年にあたられます。当神社での御祈祷は**ご予約制**ですので、事前にお電話等ご予約下さい。 ※厄年の年齢は数え年です。

男		女	
前厄	本厄	前厄	本厄
平成 5年生(男) 2.4歳(小)	昭和 4年生(男) 2.3歳(中)	平成 3年生(女) 2.6歳(小)	昭和 2年生(女) 2.5歳(小)
昭和 51年生(男) 1.1歳(中)	昭和 50年生(男) 1.2歳(大)	昭和 49年生(男) 1.3歳(中)	昭和 48年生(男) 1.4歳(小)
昭和 32年生(男) 6.0歳(小)	昭和 31年生(男) 6.1歳(中)	昭和 30年生(男) 6.2歳(小)	昭和 29年生(男) 6.3歳(小)
平成 11年生(男) 1.8歳(小)	平成 10年生(男) 1.9歳(中)	平成 9年生(女) 2.0歳(小)	昭和 8年生(女) 2.1歳(中)
昭和 60年生(男) 2.2歳(小)	昭和 59年生(男) 2.3歳(大)	昭和 58年生(男) 2.4歳(中)	昭和 57年生(男) 2.5歳(小)
昭和 56年生(男) 3.0歳(小)	昭和 55年生(男) 3.1歳(中)	昭和 54年生(男) 3.2歳(小)	昭和 53年生(男) 3.3歳(小)
昭和 32年生(男) 6.0歳(小)	昭和 31年生(男) 6.1歳(中)	昭和 30年生(男) 6.2歳(小)	昭和 29年生(男) 6.3歳(小)

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)
白江 秀知

